



新発田市立紫雲寺小学校

学校だより

2月15日号

<http://shiunjies.shibata.ed.jp>

ほっかほか

校長 土田 志津子

立春が過ぎ、日もだいぶ延びてきました。

しかし、まだまだ寒い日が続いています。インフルエンザ罹患については、普段から「マスク着用」の対策をしているためか、今のところ流行までは至っておりません。今後も、予防のためのマスク着用や手洗い、換気等、できることはしっかり行っていききたいと思います。

さて、卒業に向けた活動が動き出しました。27日に行われる六送会もその一つです。その時に、24代目干拓太鼓から25代目干拓太鼓に引き継がれます。25代目の現

4、5年生は、最後の追い込みに励んでいます。初代の保護者の金田さんが時間をつくっては、後輩のために指導に来てくださっています。音の出し方や覚え方など“自分たちが通ってきた道を”分かりやすく伝授してくれています。先輩の教えに、懸命に応えている子どもたちを見ていると、ありがたいなあと心が温かくなります。

温かくなるもう一つは、一学期のことなのですが、時々目を通しては、ほっこりする手紙があるので紹介します。

「加藤さんへ：道案内をしてくれてありがとうございました。オジギソウは、元気でいっぱい水を飲みます。でも、お花が咲きません。水をもっとあげればいいのでしょうか？それとも、これからなのか、分かりません。でも、がんばって育てます。お魚は、元気で暮らしています。わたしは、ゲンゴロウを育てています。小さくてとても可愛いです。特に可愛いところは、大好きな煮干しを食べているところと、水草につかまって揺れているところです。ありがとうございました。」(2年生)

毎年生活科でお世話になる加藤さん。自宅の近くの沼に道案内して、水辺の生き物の捕り方や飼い方などを教えてくださいます。また、毎年オジギソウを種から育てて、子どもたち一人一人に一鉢ずつプレゼントして教えてくださいます。触れると閉じるこの植物には、不思議がいっぱい詰まっています。2年生になると、加藤さんにお世話になっています。上記の手紙のように、子どもたちの心を育ててくださっているなあと、感謝の気持ちで心が温かくなります。

そして、もう一つは、先日行われた「自治会長、主任児童委員・民生委員との懇談会」でのことです。「春の頃より挨拶がよくなりましたよ。」「挨拶してくれるので、朝から、子どもたちから元気をもらっています。」「一年生も、今は自分から大きな声で言ってくれますよ。」等々。出席した自治会長さんやれんぎょうパトロール隊のみなさんから、子どもたちを褒めていただきました。褒めていただいたことも嬉しかったのですが、吹雪の中でも早朝から子どもたちの通るのを待っていて、すべての子どもたちが渡りきるまで見守ってくださる方々に、ありがたい気持ちでいっぱいになりました。

子どもたちは、地域の方々の温かさに守られているなあと、本当に嬉しくなります。みなさんの温かさを子どもたちに伝え、一緒に感謝の気持ちをもてるようにしたいです。

2、3月の生活目標は、「感謝の気持ちをもとう」です。“ありがとう”は、幸せの言葉ですね。



給食記念週間



1月26日～30日の間、給食記念週間を行いました。給食センターの取組として、今年度は「新潟県の郷土料理を食べ尽くそう」というテーマの献立を実施していただきました。トビウオのすり身汁やスキージ、そして、紫雲寺特産の郷土料理「パイオニアポークの味噌炒め・オムレツの和え、こにもん」など、上・中・下越のごちそうをおいしくいただきました。また、給食の食材を提供してくださっている生産者や調理員の方々を招待して一緒に給食を食べる会も実施しました。お客様みなさんに、給食に関する質問をするなどして、楽しく給食の時間を過ごしました。

一年生から調理員さんへ

○いつもおいしいご飯をありがとうございます。だから、早く食べ終わります。

○わたしはカレーがおいしいので、残さず食べています。

○嫌いな物も食べています。これからもよろしくお願いします。



読書大好き！！

読書ランキング集計結果です。

2月は、一年間の読書目標をふり返る月間になっています。先日行われた児童朝会では、多読者賞の表彰がありました。4月から読んだ本の合計冊数が50冊以上の子どもたちが該当します。

10分間の朝読書を取り入れて2年目になりますが、朝だけでなくちょっとした空き時間に、読みかけの本を出して読む姿が見られるようになっていきます。読書は、人生を豊かにしてくれます。以前にも書きましたが、朝読書4原則「好きな本でよい。毎日続けて読む。みんなが読む。ただ読むだけ。」は、本を好きにさせる原則とも言えます。本のジャンルは、子どもの興味関心でよいのです。6年生だから難しい本、分厚い本などときまりはありません。小さい頃読んだ絵本を、再度手に取ることがあってもよいと思います。むしろ、素敵なことだと思います。世の中で良い本と言われている「本」は、何歳になっても読んで、得るものはあるものです。

◇読書キング賞（200冊以上）

5年 本間心温さん 4年 藤田妃織さん、 鈴木結愛さん

◇読書マスター賞（150～199冊）

4年 井畑優芽さん

◇読書ハイパー賞（100～149冊）

2年 杉林結羽さん

◇読書グレート賞（50～99冊）

1年 井畑夢希さん、木川心汰さん、木川未悠さん、笹川真躍さん、杉林凜さん

2年 浅沼怜良さん、中野真緒さん、木川日菜さん、阿部さくらさん、神保有輝さん

3年 遠山ひなたさん

4年 相澤華さん、今井咲々楽さん、小林星空さん、原優月さん、池田徹さん、小形快晴さん、坂井里緒さん、横野文矢さん、石井美羽さん、小形貫太さん、塩野彩奈さん、渡辺大河さん、伊藤太一さん、小野かれんさん、高橋萌花さん、渡邊ひよりさん、井畑歩美さん、片貝瑞貴さん、瀧澤慶さん、渡邊倫士さん

5年 桐澤彩花さん

6年 安達空さん、鹿野菜々香さん、桐澤春菜さん、小池卓見さん、小林健人さん、廣澤秀和さん、古嶋玲弥さん、渡辺鈴菜さん

